

超音波探傷試験 レベル1 訓練内容(UT1)

訓練内容	訓練内容題目	訓練内容別 必要訓練時間		中部支部での 訓練内容	
		講義	実習	講義	実習
序論	NDTの目的、用語 超音波探傷試験に関する規格	1.00		1.00	
超音波の伝搬と音場, きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎 波の種類 反射、通過と屈折 超音波の発生と送受信 超音波ビームの特性 きずによる超音波の反射	3.00	3.00	3.00	4.00
製品知識と探傷技術	超音波探傷方法 製造プロセス及び供用中に発生する 様々なきず 対象となる適用品	2.00		2.00	
装置	各種探触子とケーブル 探傷器 接触媒質 標準試験片及び対比試験片	2.00	6.00	2.00	6.00
探傷準備	NDT指示書及び試験記録 探傷の目的 必要条件	1.00	3.00	1.00	4.00
検査	探傷器の調整 標準試験片と対比試験片 直接接触法(垂直及び斜角) 水浸法(垂直) 測定範囲の調整及び感度の調整 きずの検出と測定 超音波厚さ測定	3.00	6.00	3.00	8.00
評価及び報告	きずの検出 記録及び評価レベル 合格レベル 試験報告書	2.00		2.00	2.00
検査の品質	技術者の資格	2.00		2.00	
講義と実習の時間配分 最小限の訓練時間(講義+実習)		16.00~22.00	18.00~24.00	16.00	24.00
		40.00		40.00	